



岡山赤十字病院

日本赤十字社

日赤

# ふれあい 新聞



## 緩和ケア病棟10年を迎えて

\* 令和5年度患者満足度調査の報告

No.89

## 夏号

2024.8

理念 ● 信頼され親しまれる病院に

手をつなぐぬくもり — 地域とともに —  
「愛と心」がかよう医療を皆さまに提供します

岡山赤十字病院基本方針

1. 患者の皆さまの権利と意思を尊重し、十分な説明と同意に基づいた患者中心の医療を実践します。
2. 地域の中核病院として、高度で安全な急性期医療の提供に努めます。
3. 地域医療機関等との連携を密にし、患者の皆さまに適した医療を提供します。
4. 救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院としての機能の充実に努めます。
5. 災害に対応した医療救護活動を積極的に行います。
6. 優秀な人材を確保し、次代の医療を担う人材の育成に努めます。
7. 良質な医療活動を遂行するため、医療施策に沿って健全な病院運営に努めます。

# 緩和ケア病棟10年を迎えて

## 緩和ケア病棟

岡山赤十字病院 緩和ケア病棟は「私たちは、患者さまとご家族が望む場所で、大切な時間をその人らしく生きることを支えていきます」という理念のもと、2014年5月1日に開設してから、2024年で10年を迎え、延べ1,820人の患者さまにご利用いただきました。

県内では唯一の平屋建て独立型緩和ケア病棟として、緑や季節の花に囲まれ、自宅のような落ち着いた雰囲気なかで、がんやその治療に伴う苦しみをやわらげ、安心して過ごしていただけるような環境を整えています。

10年の間には、2020年から新型コロナウイルス感染症の流行にともない、人と人との関わりをできるだけ減らすような社会生活の制限が必要となり、岡山赤十字病院でも感染リスクから患者さまを守るため全面的に面会を制限する対策がとられました。緩和ケア病棟であっても面会制限をせざるを得ない状況の中、患者さまの「せめて窓越しにでも会えないもんかねえ」の一言から、独立型平屋建ての建物の特徴を生かし窓越しでの面会を実施するなどケアを工夫してきました。

2023年5月より5類感染症に移行され、少しずつではありますが、コロナ禍前のように患者さまとご家族が直接会って触れて感じて寄り添っていただけるような面会方法に戻っております。中止していた季節のイベントも感染対策し工夫しながら再開ははじめ、人と人との関わりを大切にしたケアも戻りつつあります。

世の中の状況に合わせて柔軟にケアを変えていきながら、地域の緩和ケア病棟として患者さまをいつでも受け入れること、そして「だれとどこでどのように過

ごしたいか」希望に添いながら住み慣れた家や地域で安心して暮らせるように送りだすお手伝いをさせていただくことを10年変わらず、大切にしています。その希望に添うために地域の先生方や医療・福祉・介護関係のみなさまのご協力をいただくことで、この10年継続できてきたと思っています。

緩和ケア病棟のイメージは、「最期を過ごす場所」と思われますが、急性期病院の緩和ケア病棟として、がんによる苦痛な症状に早急に対応する「痛みのICU」の役割、ご家族の支援としての「レスパイト入院」などの様々な役割を持ち、患者さまとご家族が安心して過ごすことができるような場所、地域の緩和ケア病棟でありたいと思っています。

これまでこれからも、相手を思い気にかけて、ケアすることを大切にしながら、患者さまご家族を支える場所であり続けられるように進んでいきたいと思っています。

当病棟をご利用いただいた方から、多くの学びを得て、今日に至ります。これからも地域の緩和ケア病棟としてお一人おひとりとの出会いを大切に、地域のみなさまのご期待に添えられるように努力してまいります。



# 令和5年度患者満足度調査の報告

期間：11月6日～11月30日

当院では毎年、外来及び入院患者の皆さまを対象に患者満足度調査を実施しております。調査にご協力いただき、心より御礼申し上げます。皆さまよりいただきました貴重なご意見をもとに、今後とも業務改善、医療サービス向上に努めてまいります。

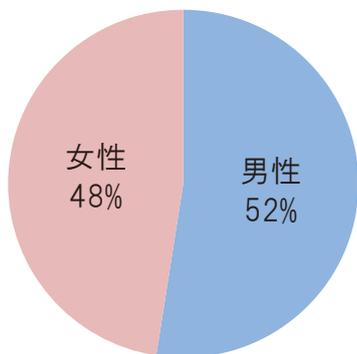
## 外 来

回答者数：634名

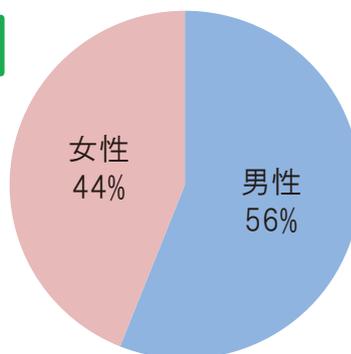
## 入 院

回答者数：283名

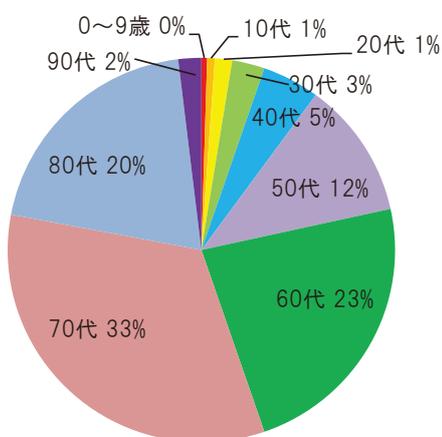
### 性別



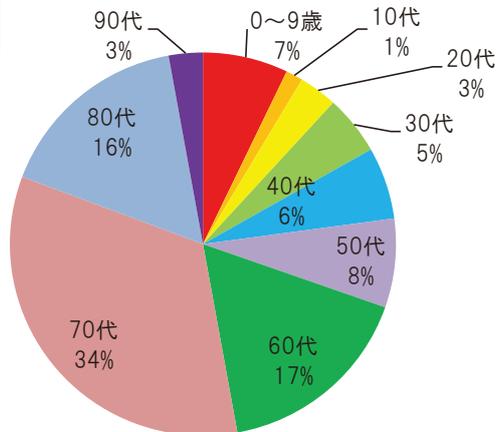
### 性別



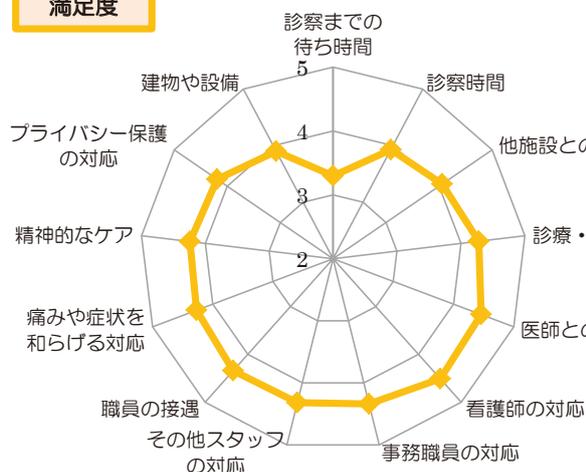
### 年齢



### 年齢



### 満足度



### 満足度

